



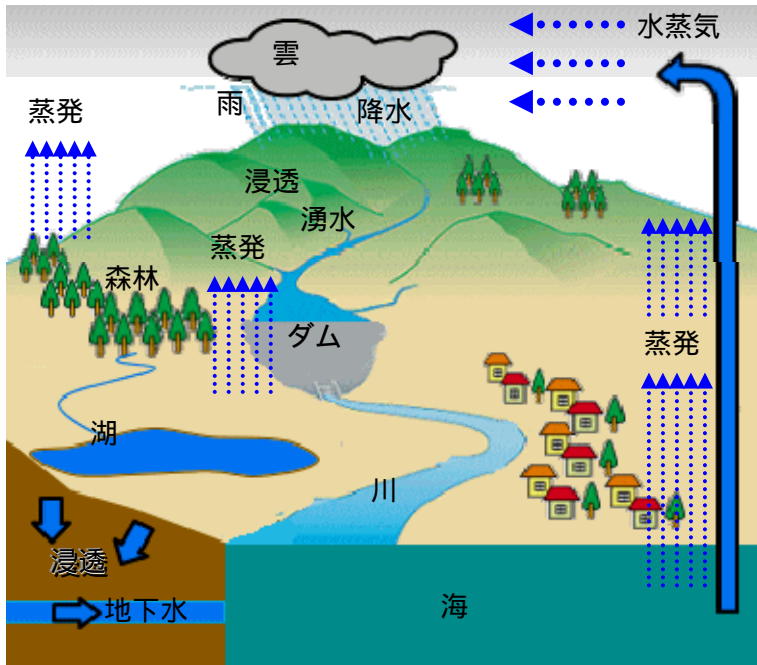
水の循環

地球上の水は水 水蒸気 雨・雪などにかたちを変えて循環しています。

1日に蒸発する水の量は1,420立方Kmといわれています。それは海水や氷・地下水を含めた、地球全体の水の0.0001%です。

海水や地表から蒸発した水蒸気は、やがて雲になり、雨や雪になって降りそそぎ、湖や川となり地上や地下深くに浸み込んでいきます。

それは同時に、私たち人間や動植物の体内を通り過ぎていきます。



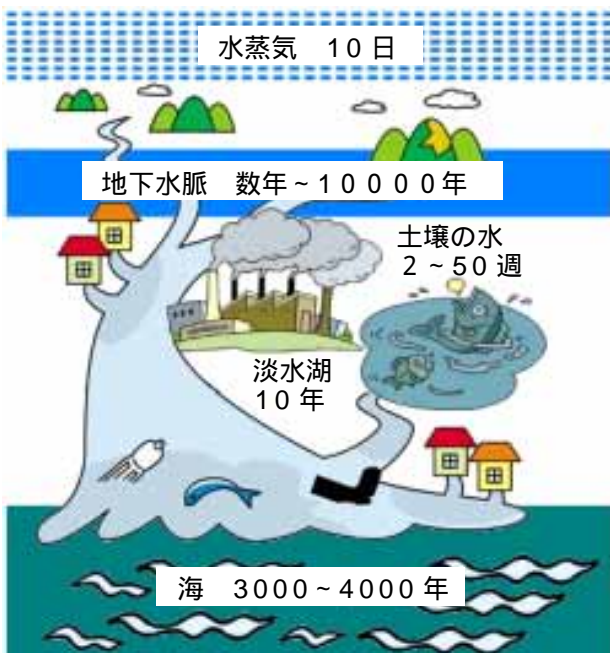
地下に浸み込んだ水の一部は、何十年もかけて地面に湧き出していきます。その湧き水の量は全地下水のほんの僅かです。ほとんどの地下水は何百年から何万年の永い間、地底深く、さまよいます。やがて水は長い旅を終えて、海に帰っていきます。水は海・氷河・川・湖・地下水・水蒸気などさまざまに姿を変えながら休むことなく循環しています。地球の水は、その総量を一定に保ちながら、蒸発と降水を繰り返して、地球上のすべての生命を支えてくれているのです。



水の入替わりに必要な時間

たとえば海の水が全部入れ替わるのには、どのくらいの時間がかかるのでしょうか。仮に、蒸発と降水の量から、海の水が完全に入れ替わる量を計算すると、資料によって若干違いがありますが、およそ3000〜4000年かかるといわれています。

それぞれの入れ替わりに必要な時間です。  
 大気中の水蒸気は10日  
 土壌に含まれた水分は2〜50週  
 淡水湖は10年  
 地下水脈では数年〜10000万年



河川の汚染は9日で地下水や海を汚染します。それぞれの水の環境が完全に元に戻るためにはこのような長い年月が必要になります。